



### 兄弟で習い事 すねて練習しない弟

小学生の2人兄弟の習い事について相談です。ある個人競技を一緒に習っています。それぞれ4歳で始めたのですが、上の子は負けず嫌いで器用な面があり、それなりにこなします。指導者から勧められて大会に出場し、入賞したこともあります。

下の子も頑張っていますが、気分が乗らないと練習しない時もあると上達スピードはゆっくり。何度か大会に出ましたが、思うような結果は出ていません。たびたび上の子が入賞すると「もう大会にでない」とすねて練習しなくなります。どうサポートすればよいでしょうか。

### 先生、教えて！

子育て・教育相談コーナー

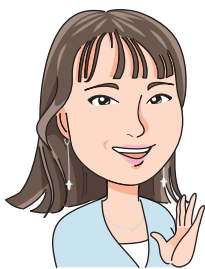


仙台市若林区  
40代・会社員  
からの質問

#### ●回答してくれた人

千葉 陽子さん

ちば・ようこ 仙台市出身。筑波大学大学院人間総合科学研究科博士後期課程修了。日本スポーツ振興センター(JSC)などを経て2021年から宮城学院女子大学芸学部助教。専門はスポーツ心理学。



ご兄弟で個人競技をされているとのこと。お兄さんの時に経験したことを知っていると、弟さんとの違いが分かり不安になる気持ち、伝わりました。

柔道男子で史上初の五輪3連覇を果たした野村忠宏さんは、幼少期は体格にも恵まれず、師匠であるお父さんも期待していなかったそうです。開花したのは高校生になってから。

また、サッカーのワールドカップ(W杯)前回大会の日本代表メンバー26人中15人が末っ子。上の子をよく見て育つ要領の良さや兄姉ができることを「自分もできる」と頑張ることが理由に挙げられています。その子がその競技で花咲くかどうかは最初の時点では分かりませ

### 気持ちを丁寧に聞いて

ん。全員に可能性があるのです。

人がモチベーションを維持しやすいのは表面的な結果よりも内面的な楽しさや意義によると言われます。このモチベーションは「自分で選んで自分の意志でやっている」、「少し難しいタスクをやり遂げたという有能感を感じる」、「周囲の人に価値を認められ、尊重されている」ことから生み出されます。

すねて練習しないのはなぜでしょう。失敗を回避して有能感を損なわないためでしょうか。また、同じ習い事をする本質的な理由がお兄さんとは異なることもあります。その辺りの気持ちを弟さんに丁寧に聞いてみると、上手なサポートの道筋が見えてくるかもしれません。

このコーナーは保護者からの子育てや教育についての相談を募集しています。メール、郵送のほかQRコードから応募できます。

▶記入事項 氏名、年齢、職業、住所、家族構成、電話番号、メールアドレス

▶宛先 〒980-8660 河北新報社 こども新聞係。メールアドレスkyopro@po.kahoku.co.jp



### 募集中



### 「3.11からの独り言」

河北新報社は震災13年の取り組みとして、東日本大震災を経験して感じたこと、心に残っている場面などを、おおよそ五・七・五でつづった短文「独り言」を募集します。地震や津波のこと、復興のこと、支援のこと、思い出せる人は短文を作成して、記憶を記録するとともに、応募してみませんか。

寄せられた独り言は河北新報オンラインなどで紹介する予定です。

#### 応募方法

- 専用の入力フォームで受け付けます。締め切りは2024年1月31日
- 河北新報オンラインのピックアップか右記の二次元コードから接続してください
- 連絡先 防災・教育室 022(211)1591 メール hitorigoto@po.kahoku.co.jp

